MUKAWA 広報むかわ
10
OCTOBER 2015
No.115
発行・編集 むかわ町役場 総務企画課政策推進G
〒054-8660
北海道勇払郡むかわ町美幸2-88
TEL 0145-42-2411
FAX 0145-42-2711
http://www.town.mukawa.lg.jp/
seisaku@town.mukawa.lg.jp

恐竜が出たゾー!

恐竜のまちづくり最前線

パート 9

穂別稲里
恐竜特集

今後は恐竜化石を活かしたまちづくりを皆さんと一緒に考える取り組みが始まります。

まちづくり委員会専門部会開催　小林准教授も参加

8月20日(木)、穂別町民センターでむかわ町まちづくり委員会第3回専門部会が開催され、「恐竜化石の郷づくり」構想の素案について質疑・意見が交わされました。今回は専門部会委員でもある北大総合博物館の小林快次准教授が海外調査の合間を縫って駆けつけてくださいました。小林准教授からは「国内外の研究者やマスコミ関係者から『むかわ町穂別のハドロサウルスはどうなったのか』とよく聞かれる。期待に応じて情報発信をし、関心を高めていきたい」とのお話がありました。

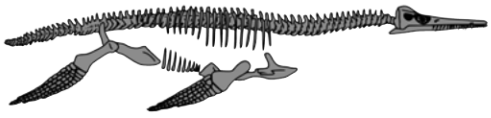
他の委員からも、構想案を具体的にどのように実践していくのか、町民の関心をどのように高めていくのかといった意見が挙げられました。専門部会では今後も議論を重ね、10月中に構想の答申を行う予定です。

専門部会の様子。挨拶をされる小林快次准教授。

国内最良の「首の短い首長竜」 研究着々と

ポリコティルス類鵡原標本を調査中の佐藤たまき准教授。背骨やヒレ、骨盤の化石などが見つかっています。

8月25日(火)～30日(日)、東京学芸大学の佐藤たまき准教授が調査のため穂別博物館を訪れました。今回調査された標本は1993年に本町で採集されたポリコティルス類(首の短い首長竜)の化石で、発見者の名前から「鵡原(しずはら)標本」と呼ばれています。鵡原標本は全身の半分近くの骨格が保存されており、佐藤准教授のお話では「ポリコティルス類としては国内最良、日本の首長竜化石全体でも屈指の標本。」とのことで、今後の研究が期待されています。



ポリコティルス類骨格復元図

担当：太田晶(地域おこし協力隊)

人の動き

平成27年8月31日現在

※(　)は前月比。住基法の改正により、外国人数を含みます。

▶人口	8,849人(-22)
▶男性	4,356人(-9)
▶女性	4,493人(-13)
▶鵡川地区	6,015人(-13)
▶穂別地区	2,834人(-9)
▶世帯	4,438世帯(-6)

平成27年8月1日～31日

出生	3人	死亡	13人
転入	11人	転出	23人

交通死亡事故ゼロ日数

平成27年8月31日現在

202日

北海道は、8月16日に昨年より11日早く交通事故死者数が100人となって以降も交通死亡事故の発生に歯止めがかかっていません。町民の皆さんにおかれましても、今一度、交通安全について考えていただき、むかわ町そして北海道から悲惨な交通事故を1件でも減少させるため、ご協力をお願いします。いつも以上に安全運転を!